

# 一般質問

## 質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

### 大前 誠治

- ①一級二級河川②道路行政③交通安全啓発④鳥獣被害対策

### 三宅 真弓

- ①老人会②不法投棄③育児休暇

### 松浦 正武

- ①TPP対策と丸亀市の特色ある農産物づくり②コミュニティバス

### 多田 光廣

- ①学校における安全・安心と健全な心身の育成②農業振興

### 松永 恭一

- ①観光行政の推進②環境問題

### 三木 まり

- ①地域環境②子育て支援③予算編成の透明化

### 横田 隼人

- ①小中一貫教育及び学校教育②幼・保一体化③保育所民営化④給食費等の未納問題

### 倉本 清一

- ①いじめ問題の取り組み②食物アレルギー給食の運用③イ

### ンフルエンザ対策

### 尾崎淳一郎

- ①TPP加盟②鳥獣被害対策③給食パート職員④住宅リフォーム助成制度

### 片山 圭之

- ①エコロジーのまちづくり②耕作放棄地対策③子ども園ビジョン④観光立市丸亀の実現⑤平成23年度の予算編成方針⑥地方への一括交付金⑦機構改革

### 福部 正人

- ①未収債権対策②期日前投票における宣誓書③自治会の加入促進④通学航路費補助金⑤美術館利用者に対するサービス向上⑥放課後留守家庭児童会

### 加藤 正員

- ①障がい者虐待防止及び障がい者の相談支援の状況②地域担当職員の配置

### 横川 重行

- ①小・中学生の体力②新学習指導要領及び小・中学校での英語教育③税等の収納率向上対策

### 藤田 伸一

- ①市立保育所の民営化等②公契約条例の制定③次期の瀬戸内国際芸術祭への参加④合併時の降任人事問題

### 中谷真裕美

- ①子どもの医療費無料年齢引き上げと病児・病後児保育実施②国民健康保険税・一部負担金の減免③野球場建設計画

### 国方 功夫

- ①学校施設耐震補強の現状と進め方等②競艇場の屋上緑化

### 内田 俊英

- ①生活保護制度の適正な運営②若者就活支援③幼小中・保育所・公園等の芝生化④丸亀出身芸術家・文化人の宣揚⑤市民活動支援

### 岡田 健悟

- ①情勢に対応する力量②島民の安全で安心な生活保持のための施策③健康で文化的な生活水準の保持を図る行政責任④離島の玄関港及び主要港の早期改善整備

### 議会だよりは、議員の質問の中から1項目を選び、内容を要約の上掲載しています。

## 土器川の河床整備

### さらに国と協議を

◎大前議員 土器川の河床の底上げについては、これまでも香川河川国道事務所への要望や、議会での質問など対策を求めてきた。近年の想定外の豪雨による浸水被害を防ぐには、上流から下流までの治水計画の整合性が重要だと考えている。現在土器川の城東小学校付近では工事が行われているが、どのような内容の工事か。また、河床への土砂の堆積状況を考えると、ぜひ底下げを行ってほしいが、国や県とさらに協議する考えを伺いたい。

▲市長 土器川は全国でも有数の急流河川であり、度重なる洪水により局所的な河床洗掘が進行している。現在行われている工事は、今後の堤防決壊の恐れを低減するため、河川管理者である香川河川国道事務所による計画的な洗掘防止対策としての整備工事である。また、現在の土砂の堆積状況は、国土交通省の調査では河川機能の保全上は問題ないとのことである。今後とも国土交通省と協力し、河床整



正など土器川の整備を総合的に推進するよう要望していききたい。



土器川（城東小学校付近）の工事

## 育児休暇の取得 どうすれば進む

◎三宅議員 広島県知事や伊勢市長など各地の首長が、ややバフォーマンス的に育児休暇を取得している。流行語にも選ばれたイクメンというわけだが、この人たちの行動をどういった現象ととらえているのか。また、男女共同参画の立場から、行政はこの機運をどのように活用し社会や企業に働き掛ければ、男性が育児休暇を取得できるようなかと考えているか。

△企画財政部長 知事や市長が

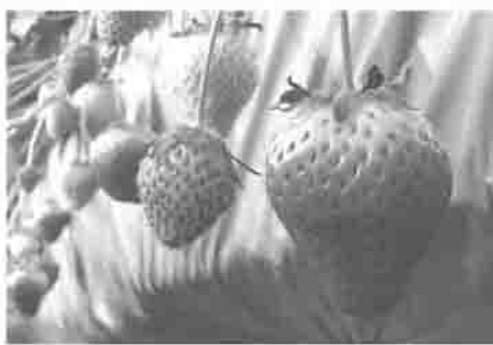
自ら育児休暇を取得することで、取得しやすい職場環境づくりと男性の子育て参画の必要性をアピールするねらいがあったと考えている。こうした背景には、今後ますます仕事と生活を調和させるワーク・ライフ・バランスが重要になってくるものと認識している。また、男性の育児休暇取得の取り組みとして、これまで企業への啓発や情報発信を行うとともに、市役所でも行動計画を策定し職員の仕事と子育ての両立を支援してきた。今後は育児と介護の両方の問題に対応するため、制度の周知や制度を利用しやすい職場環境の整備など男女が共に育児、介護に参加するための一層の支援を推進したいと考えている。

## 特色ある農産物 市の施策は

◎松浦議員 本市で生産される農産物は、市民のみなさんに使ってもらえるような品質の高い物を作っていくことが必要である。最近の異常気象の中、今後市ではどういふことに力を注いでいこうと考えているのか。また、特色ある農産物作りには仲

間が必要である。地域づくりや仲間づくりをしながら農業の強化を進めることが、市の特色ある農産物作りにつながると考えるが、市の考えは。

△都市経済部長 農産物に対する消費者のニーズは年々高まっており、品質はもとより、安全・安心な農産物が求められている。今後は新規就農者への指導役としてベテラン農家への研修や交流の場をつくり、そこでの指導が高品質な農産物の生産に寄与するものと考えている。また、土壌診断の結果を基に適正な肥料設計を行い、高品質な農産物の安定生産を目指し、その結果を実感できる食味検査や共励会等を開催し、品質の向上に努めていきたい。農業における地域づく



香川県で生まれたいちご「さぬきひめ」

り、仲間づくりについても、丸亀市農業経営者協議会の新規会員の確保や既存部会の相互交流などにより、仲間意識の拡大に努めるとともに、地域農業の持続的発展に寄与する団体となるよう支援していききたい。

## 学校での安心確保 対策と効果は

◎多田議員 学校内の安全・安心づくり対策の一つとして、現在、学校支援員を市内の5中学校に今年度末までの期限で採用しているが、その活動内容はどのようなものか。また、対策を実施してから今までにその効果を確認したことはあるのか。今後の取り組みについても見解を伺いたい。

△教育長 学校内の安全・安心の確保は、すべての教育活動の根幹をなすものである。市教育委員会では、楽しい学校、学級づくりに取り組んできたが、不登校、いじめ、暴力行為等問題行動の根本的な解決に至らず、特に中学生の問題行動が多発した。そこで、昨年の9月から国の緊急雇用対策事業として、陸地部の5中学校に生徒指導補助



員12名を配置し、校舎内外の巡回指導で問題を抱える生徒への声掛けや問題行動を発見した際の連絡、報告、相談等を行っている。昨年度末に学校長にアンケート調査を行ったところ、学校の隅々まで目が行き届き、問題行動の早期発見、早期対応ができた、器物破損が減少した、落ち着いて学習に取り組む雰囲気が出てきたなど、好ましい評価である。今後の取り組みについては、国の施策や学校の状況を見ながら検討していきたい。

## 観光行政の推進 どう取り組む

◎松永議員 高速道路の低料金化や歴史、讃岐うどんブーム等により、本市を訪れる観光客も増えているようだが、観光行政は本市単独の力では推進できない。民間観光産業や近隣の自治体と本市のつながりや協力的体制はどうなっているのか。また、今後の対応をどのように考えているのか、見解を伺いたい。

△市長 現在、中讃地区の3市5町と商工会議所、観光協会、金刀比羅宮、総本山善通寺、民間観光産業を含めた各種団体で

組織するさぬき瀬戸大橋広域観光協議会と連携を取りながら、観光施設や観光資源の整備、開発を行っている。今後は、金毘羅街道の整備やまち歩き事業をさらに改善するなど、ハード、ソフト両面から取り組み、丸亀と琴平との連携を深めていきたい。また、とつとの日や讃岐富士の日には、ホテル、飲食店、店舗、タクシー業界の協力を得るなど、民間観光産業とタイアップした事業を増やしていきたい。さらに、ニューレオマワールドなど丸亀市を中心とした観光圏の情報発信や地域ブランドの営業活動を積極的に行うとともに、県や近隣自治体と連携して観光客の誘致に努め、滞在型観光を推進していきたい。



10月10日は「とつとの日」骨付鳥

## 松くい虫防除と 有害鳥獣対策

◎三木議員 地域環境に関連して、次のことを伺いたい。①松くい虫防除の空中散布は、県下では高松市の1箇所と綾歌地区だけとなっているが、今後どのように対応するのか②本市でも、有害鳥獣による異常な事態が発生しているが、里山の崩壊が原因の一つとして挙げられている。これまでどのように検討し、どのような改善策をとったのか。

△都市経済部長 ①空中散布は松くい虫の樹体内への侵入を阻害し、発病が妨げられることから、現在最も効果的な方法である。綾歌地区には貴重な松林が数多く残っており、今後も地域住民等関係者の理解と協力が得られるうちは、空中散布による松くい虫防除を行う予定である

②有害鳥獣捕獲は被害の軽減や予防であり、被害の根本的な解決とはならない。市では、松くい虫防除事業や造林事業により、山林の保全に努めているが、里山再生に主眼を置いた事業は実施していないのが現状である。そこで、地域の人に協力しても



野生動物に注意を

## 塩屋保育所民営化 社協でする意義は

◎横田議員 塩屋、塩屋北保育所の統合・民営化について、次のことを伺いたい。①なぜ社会福祉協議会に保育所運営を委託することになったのか②市直営と社会福祉協議会による運営との経費面、保育サービスの違い

③社会福祉協議会で保育所を運営することのメリット④今後の保育所民営化の取り組み。

△市長 ①市内の民間認可保育

らい、里山終端部の木を刈り払ったり、進入防止柵を設置したりして、里山と周辺農地とを分けることで、野生動物による被害防除に取り組んでいきたい。





寒くたって、元気に遊ぶよ

所からの応募が見込めないことから、平成24年度に塩屋、塩屋北保育所を統合し、社会福祉協議会による民営化が最善と判断した②新塩屋保育所開園時の児童数を200人と想定した場合、民営化による削減額が4000万円、統合による削減額が2000万円程度になる。保育サービスについては、現在の公立保育所の保育内容の継承を基本に、公立保育所での実施が難しいゼロ歳時保育や延長保育等を確実に実施してもらえ③公立保育所の運営や保育内容を十分引き継ぐことができ、一定期間の引き継ぎ保育が可能である。また、役員が市内団体の代表者等で構成されており、市民ニーズにより一層こたえられる保育が期待

できる④公募タイプの民営化方針での運用を原則とし、状況に応じて判断していきたい。

## いじめ問題

### 学校の取り組みは

◎倉本議員 学校でのいじめ問題の取り組みについて、次のことを伺いたい。①いじめの現状把握をどのようにしているのか②学校はどのような活動をしているのか。校長を中心に教職員が一致協力体制を確立して実践に当たっているのか。

▲教育長 ①定期的にアンケート調査や個別面談を行うほか、日常的な日記指導等により、教師が児童・生徒の悩みや不安の把握に努めている。さらに、児童・生徒に気がかりな様子が見られたときには、まず教師がその子に声をかけて話を聞くとともに、事実関係の究明に当たっては、友人関係等からも情報収集に努め、積極的に家庭訪問も行い、保護者も交えて話し合いをしている②子どもの状況やその対応に関して、生徒指導委員会や職員会等で情報の共有をするとともに、必要に応じて朝や帰りの職員打ち合わせ等で連絡

している。学級担任やスクールカウンセラー等、複数の教職員がいじめられた子どもの心のケアに努める一方、全教職員で見守りをし、保護者とも連絡を取り合い、情報を共有して迅速な対応に努めている。いじめた子どもについても、保護者と連絡を取り、背景にある不安や悩みの解決に迫るよう指導している。

### 住宅リフォーム助成 本市でも導入を

◎尾崎議員 地域経済の活性化、波及効果が大きい住宅リフォーム助成制度が全国に広がっている。住宅リフォーム助成制度は、住宅をリフォームしたい住民に自治体が一定額の補助をするもので、工事を地元の中小零細建築業者に発注するため、建設不況で仕事が減って困っている業者から歓迎されている。住民からも助成制度があるこの機会に家をリフォームしたいと歓迎され、申請の動きが広がっている。制度を導入した自治体では、経済波及効果が高く、地元業者や住民に喜ばれているが、本市もぜひ実施してはどうか。

▲都市経済部長 この制度は、

一般住宅のリフォームで地域経済の活性化を呼び起こす制度で、市民が住宅改修工事を市内の業者で行った場合、一定の金額を助成することで、住宅の改善を容易にするとともに、中小零細業者の振興も図るものである。また、住宅改修を契機に建設資材の調達だけでなく、家具や家電などの耐久消費財の需要の増加が図られる。本市としては、厳しい財政状況の中、財源確保や個人財産への助成が適切かどうか問題点があるため、実施は困難と考えている。今後は国や県の補助制度の動向を注視しながら、調査研究をしていきたい。

### 観光立市丸亀の 実現に向けて

◎片山議員 日本観光のトップセールスマン、溝畑宏観光庁長官の講演会が本市で開催され、これからは日本の自然や歴史、文化を武器に、観光立国の実現に向けて取り組んでいくことが日本の元気の源になると話された。県でも浜田県知事のトップセールスで、3月からは高松上海便が就航する予定である。本市でも、友好都市の張家港市か